

12月号の「広報あしや」の表紙です。

各ご家庭にも配布中と聞いています。

ぜひ、一読いただけたらと思います。「認め合って共に生きる社会へ」が今月のテーマになっています。

Ashiya

December.2021 vol.1284

広報 あしや 令和3年12月号

ASDのある僕が思うこと

僕は一見フツウに見える だけど

「こっちを見て」って言われて目を見ると「聞くことに集中できないんだ。」

「考えてらん」って言われても「考える」って

どういふことか分からないんだ。

返事をしないのは無視しているんじゃないよ。

色々な音が一度に耳の中に入ってしまうから、

どれもはっきり聞こえないんだ。

大きな音がする時も、どこで鳴っているのか

分からないからとても怖いんだ。

耳をふさぐんだけどがまんできなくて時々大きな声を出したり

走り出したりして周りを驚かせてしまうんだ。

僕が同じことを何度も繰り返して言うのは

自分を落ち着かせるためなんだ。

止められると、とても不安になってしまうんだ。

本当はみんなと同じようにしたいと思っているんだ。

上手くてきたらいいんだけど...

分かってもらえたらいいのにな。

龍の言葉



「発達障がい」とは

発達障がいは、広汎性発達障害(自閉症など)、学習障害、注意欠陥多動性障害など、「脳機能の発達に関係する障がい」です。発達障がいのある人は、コミュニケーションや対人関係を作ることが苦手です。また、その行動や態度が「自分勝手」とか「困った人」と誤解され、敬遠されることも少なくありません。それが、親のしつけや教育の問題ではなく、脳機能の障がいによるものと理解すれば、周りの方々の接し方も変わってくるのではないのでしょうか。

- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、こだわり

知的な遅れを伴うこともあります

自閉症

広汎性発達障害

アスペルガー症候群

- 基本的に、言葉の発達の遅れはない
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、興味・関心の広さより
- 不器用(身体発達に比べて)

発達障がいのある人たちが個々の能力を伸ばし、社会の中で自立していくためには、子どものうちからの「気づき」と「適切なサポート」、そして何よりも発達障がいに対する私たち一人ひとりの理解が必要です。発達障がいがあるといっても、障がいの種類や程度によって違いますし、年齢や性格などによっても、一人ひとり違いますので、生活の中で困難なこと、苦手なことも一人ひとり違います。そのため、「一人ひとりの特徴に応じて配慮をしたり、支援したりしていくこと」が重要です。

注意欠陥多動性障害 AD/HD

- 不注意(集中できない)
- 多動・多弁(じっとしていられない)
- 衝動的に行動する(考えるよりも先に動く)

学習障害 LD

- 「読む」、「書く」、「計算する」等の能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

発達障がいの人に接するときの配慮について

発達障がいがあるといっても、生活に困難なこと、苦手なことは一人ひとり違います。配慮してほしいポイントをいくつか紹介します。

- ▶ 他の人が簡単にできることでも、うまくできない
→ 努力している点、うまくいっている点を褒めよう。できなかったところは、どのようにやればもっと良くなるかを肯定的・具体的に伝えてみてください。
- ▶ あいまいな表現が苦手
→ 言葉で説明するときは、短い文で一つずつ順を追って具体的に説明すると理解しやすくなります。

- ▶ 言葉で言われても理解しづらい
→ 自閉症など広汎性発達障害の特性をもっている人の多くは、言葉で言われるよりも、目で見て分かる情報の方が理解しやすいと言われています。写真や絵を添えて説明すると理解しやすくなります。
- ▶ 人混みや大きな音が苦手
→ 自閉症の人たちの中には人混みや大きな音、光などの刺激を苦手とする人が多くいます。そのような刺激による不快感を大きくしないよう、安心できる環境を作ってあげましょう。